施設基準（R8.11.１現在）

医科

＜特掲診療料＞

がん性疼痛緩和指導管理料

・院内に緩和ケアを担当する医師を配置しています。

難治性がん性疼痛緩和指導管理加算（がん性疼痛緩和指導管理料の注２）

・がん性疼痛の症状緩和を目的とした放射線治療及び神経ブロック治療を行っています。

がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ

・緩和ケアの研修を修了した医師及び専任の看護師が同席し、診療結果及び治療方針の説明等を行います。また、必要に応じて公認心理師、薬剤師が説明を行います。

外来緩和ケア管理料

・がん性疼痛の症状（身体的症状又は精神症状）の緩和のため、緩和ケアチームを設置しています。

移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）

・造血幹細胞移植科を設置しています。

外来リハビリテーション診療料

・リハビリテーションを実施している間、患者の急変時等に連絡を受け、リハビリテーションを担当する医師が直ちに診察を行える体制を整備しています。

外来放射線照射診療料

・放射線治療を行うため、放射線治療医、専従の看護師及び専従の診療放射線技師が勤務しています。

外来腫瘍化学療法診療料１

・外来化学療法を実施するための専用のベッドを有する通院治療センターを設置しています。
・専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時１名以上配置されています。
・電話による緊急の相談に 24 時間対応できるよう外来化学療法ホットラインを整備しています。
・急変時等の緊急時に入院できる体制を整備しています。
・年に１回、化学療法の治療内容の妥当性を評価する委員会を開催しています。

連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料の注６）

・化学療法を実施している患者の栄養管理を行うための体制を整備しています。

がん薬物療法体制充実加算（外来腫瘍化学療法診療料の注９）

・化学療法を実施している患者の薬学的管理を行うための体制を整備しています。

ニコチン依存症管理料

・敷地内は全面禁煙となっています。
・ニコチン依存症の患者に対し禁煙治療を行っています。

相談支援加算（療養・就労両立支援指導料の注３）

・就労と療養に係る支援を行うため両立支援コーディネーターを配置しています。

遺伝性疾患療養指導管理料の注１から注３、注５

・遺伝性疾患の診療につき十分な経験を有する常勤の医師を配置しています。
・療養指導を行うにつき十分な体制を整備しています。

がん治療連携計画策定料１

・がん診療連携拠点病院として、疾患や患者の状態等に応じた地域連携診療計画を作成し、連携医療機関と共有しています。

がん治療連携管理料

・がん診療連携拠点病院の指定を受けています。

外来がん患者在宅連携指導料

・外来で化学療法又は緩和ケアを実施している進行がんの患者で、在宅での緩和ケアに移行が見込まれている場合、患者の同意を得たうえで、在宅で緩和ケアを実施する他の保険医療機関に対して文書で紹介します。

外来排尿自立指導料

・排尿ケアをおこなうための排尿ケアチームを設置しています。

薬剤管理指導料

・医薬品情報管理室を有しており、薬剤師は入院中の患者ごとに薬剤管理指導記録を作成し、投薬又は注射に際して必要な薬学的管理指導を行います。

医療機器安全管理料１

・常勤の臨床工学技士を配置しています。
・医療機器の安全使用のための責任者を設置しています。

医療機器安全管理料２

・高エネルギー放射線治療装置、ガンマナイフ装置、密封小線源治療機器を備えています。

がんゲノムプロファイリング評価提供料

・固形がん患者について、がんゲノムプロファイリング検査を行った場合、包括的なゲノムプロファイルの結果についてエキスパートパネルで検討会を行い、文書を用いて説明をしています。

在宅腫瘍治療電場療法指導管理料（膠芽腫の場合）

・所定の研修を修了した医師を配置しています。

在宅腫瘍治療電場療法指導管理料（非小細胞肺癌の場合）

・所定の研修を修了した医師を配置しています。

造血器腫瘍遺伝子検査

・PCR 法により遺伝子検査を行っています。

遺伝学的検査の注 1

・遺伝学的検査を行うにつき十分な体制を整備しています。

骨髄微小残存病変量測定

・当該検査を関係学会による認定を受けている衛生検査所に委託しています。

BRCA1/2 遺伝子検査

・BRCA1/2 遺伝子検査を行なうために必要な医師が配置されています。

がんゲノムプロファイリング検査

・がんゲノム医療中核拠点病院として、がんゲノムプロファイリング検査を行う体制を整備しています。

ウイルス・細菌核酸及び薬剤耐性遺伝子多項目同時検出

・専ら感染症に係る診療の経験を 5 年以上有する医師、専ら臨床検査を担当した経験を 5 年以上有する医師を配置しています。

検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ）（検体検査判断料の注４）

・臨床検査を専ら担当する常勤医師及び常勤の診療放射線技師が配置されています。

国際標準検査管理加算（検体検査判断料の注５）

・国際標準化機構が定めた臨床検査に関する国際規格に基づく技術能力（ISO15189）の認定を受けています。

神経学的検査

・専ら神経系疾患の診療を担当した経験を 10 年以上有する常勤医師を配置しています。

内服・点滴誘発試験

・薬疹の診断及び治療の経験を 10 年以上有する皮膚科を担当する常勤医師を配置しています。

CT 透視下気管支鏡検査加算（経気管肺生検法の注２）

・呼吸器系疾患の診療の経験を 5 年以上有する常勤の医師、診療放射線技師を配置しています

経頸静脈的肝生検

・急変時等の緊急事態に対応するための体制その他当該検査を行うための体制を整備し、
経験を有する常勤の医師を配置しています。

前立腺針生検法（MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの）

・当該検査を行うために必要な機器・設備を有し、経験を有する常勤の医師を配置しています。

経気管支凍結生検法

・呼吸器系疾患の診療の経験を 10 年以上有する常勤の医師、5 年以上有する常勤の医師を配置しています。

壁側胸膜凍結生検法

・呼吸器系疾患の診療の経験を５年以上有する常勤の医師を配置しています。
・急変時等の緊急事態に対応するための体制その他当該検査を行うための体制を整備しています。

画像診断管理加算１

・画像診断を専ら担当する常勤の医師を配置しています。

画像診断管理加算４

・日本医学放射線学会の定める方針に基づいて、人工知能関連技術が活用された画像診断補助ソフトウェアの適切な安全管理を行っています。

ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合又はＰＳＭＡイメージング剤を用いた場合を除く。）

・核医学診断の経験を３年以上有し、かつ、所定の研修を修了した常勤の医師を配置しています。
・診断撮影機器ごとに、ＰＥＴ製剤の取扱いに関し、専門の知識及び経験を有する専任の診療放射線技師を配置しています。

ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（PSMA イメージング剤を用いた場合に限る。）

・核医学診断の経験を３年以上有し、かつ、所定の研修を修了した常勤の医師を配置しています。
・診断撮影機器ごとに、ＰＥＴ製剤の取扱いに関し、専門の知識及び経験を有する専任の診療放射線技師を配置しています。
・関連学会の定めるＰＳＭＡ標的療法に係る所定の講習会又は院内研修を受講している常勤の医師及び診療放射線技師を配置しています。

CT 撮影及び MRI 撮影

・マルチスライス型（16 列、64 列以上）の CT 機器及び 1.5 テスラ、3 テスラ以上の MRI 機器を使用しています。

乳房ＭＲＩ撮影加算（磁気共鳴コンピューター断層撮影の注５）

・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会より乳がんの専門的な診療が可能な施設として認定されています。

頭部ＭＲＩ撮影加算（磁気共鳴コンピューター断層撮影の注８）

・日本医学放射線学会の定める指針に基づいて、適切な被ばく線量管理を行っています。

全身ＭＲＩ撮影加算（磁気共鳴コンピューター断層撮影の注９）

・日本磁気共鳴医学会の定める指針に基づいて、適切な被ばく線量管理を行っています。

大腸 CT 撮影加算（コンピューター断層撮影の注７）

・当該撮影を行うために必要な機器を有しています。

冠動脈 CT 撮影加算（コンピューター断層撮影の注 4）

・当該撮影を行うために必要な機器を有しています。

抗悪性腫瘍剤処方管理加算（処方料の注 6、処方箋料の注 5）

・許可病床数を 200 床以上有しており、化学療法の経験を 5 年以上有する専任の常勤医師が勤務しています。

一般名処方加算（処方箋料の注６）

・医薬品の供給状況や、令和６年 10 月より長期収載品について医療上の必要があると認められない場合に患者の希望を踏まえ処方等した場合は選定療養となること等を踏まえつつ、一般名処方の趣旨を十分に説明いたします。

外来化学療法加算１

・外来化学療法を実施するための専用のベッドを有する通院治療センターを設置しています。
・化学療法の経験を５年以上有する専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時１名以上配置されています。
・急変時等の緊急時に入院できる体制を整備しています。
・年に１回、化学療法の治療内容の妥当性を評価する委員会を開催しています。

無菌製剤処理料

・無菌製剤処理を行うための専用の部屋を有しており、無菌室・安全キャビネットを備えています。

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

・専任の常勤医師および専従の理学療法士、作業療法士または言語聴覚士を配置しています。また、医師の指示のもと、種々の運動療法や訓練を行うための、必要な器具・器械を備えており、専用の機能訓練室があります。

摂食嚥下機能回復体制加算２（摂食機能療法の注３）

・摂食機能及び嚥下機能の回復の支援に係る専門知識を有した摂食嚥下支援チームを設置しています。

がん患者リハビリテーション料

・がん患者のリハビリテーションを行う経験を十分に有している専任の常勤医師、専従の常勤理学療法士、常勤作業療法士または常勤言語聴覚士が配置されています。

リンパ浮腫複合的治療料

・リンパ浮腫の患者に対する複合的治療を行うための体制を設置しています。

ストーマ合併症加算

・排泄ケア関連領域における適切な研修を修了した常勤の看護師を配置しています。

吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静（声門上器具又は気管挿管による気道確保を伴わないもの）１、２

・緊急時又は蘇生時に対応する体制として、夜間及び休日を含む連絡体制並びに機器及び機材の設置に係る手順書を事前に作成しています。当該手順書については、深鎮静を実施する全ての診療科及び麻酔科が協同して作成しています。

麻酔管理料（Ⅰ）

・常勤の麻酔科標榜医により、麻酔の安全管理体制が確保されています。

麻酔管理料（Ⅱ）

・常勤の麻酔科標榜医を５名以上配置しています。
・担当医が実施する一部の行為を、麻酔中の患者に係る適切な研修を修了した専任の常勤看護師が実施することがあります。

放射線治療専任加算

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を５年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。

外来放射線治療加算

・治療を行うために必要な機器、施設を備えています。

高エネルギー放射線治療

・高エネルギー放射線治療を年間合計 100 例以上実施しています。

高エネルギー放射線治療の乳癌に対する全乳房照射の場合（寡分割照射に係るものに限る。）

・高エネルギー放射線治療を年間合計 100 例以上実施しています。
・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・高エネルギー放射線治療による全乳房照射を行うにつき必要な体制を整備しています。

強度変調放射線治療（ＩＭＲＴ）の前立腺癌に対する前立腺照射（寡分割照射に係るものに限る。）

・高エネルギー放射線治療を年間合計 100 例以上実施しています。
・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・強度変調放射線治療による前立腺照射を行うにつき必要な体制を整備しています。

強度変調放射線治療（IMRT）

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。

画像誘導放射線治療加算

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する者を 1 名以上配置しています。
・治療を行うために必要な装置を治療室内に設置しています。

体外照射呼吸性移動対策加算

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する者を 1 名以上配置しています。
・治療を行うために必要な装置を治療室内に設置しています。

定位放射線治療

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する者を 1 名以上配置しています。
・治療を行うために必要な装置を治療室内に設置しています。

定位放射線治療呼吸性移動対策加算

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する者を 1 名以上配置しています。
・治療を行うために必要な装置を治療室内に設置しています。

画像誘導密封小線源治療加算（密封小線源治療の注８）

・放射線治療を専ら担当する放射線治療の経験を 5 年以上有する常勤の医師及び常勤の診療放射線技師を配置しています。
・放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する者を 1 名以上配置しています。
・治療を行うために必要な装置を治療室内に設置しています。

保険医療機関間の連携による病理診断

・病理診断業務について 5 年以上の経験を有し、病理標本作製を行うことが可能な常勤の臨床検査技師を 1 名以上配置しています。

病理診断管理加算２

・専ら病理診断を担当した経験を５年以上有するウ常勤の医師及び専ら病理診断を担当した経験を７年以上有する常勤の医師を配置しています。
・病理標本作製及び病理診断の精度管理を行う体制が整備されています。
・剖検室の設備や必要な機器を備えています。

国際標準病理診断管理加算

・国際標準化機構が定めた病理診断に関する国際規格に基づく技術能力の認定を受けています。

悪性腫瘍病理組織標本加算

・専ら病理診断を担当した経験を７年以上有する常勤の医師を１名以上配置しています。
・病理標本作製及び病理診断の精度管理を行う体制が整備されています。
・剖検室の設備や必要な機器を備えています。

外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）

・職員の賃金の改善を実施するために必要な体制を整備しています。

外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の注５

・職員の賃金の改善を実施するために、継続的に賃上げを行っています。

入院ベースアップ評価料

・職員の賃金の改善を実施するために必要な体制を整備しています。

＜手術＞

医科点数表第２章第 10 部手術の通則の９に掲げる頭頸部悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算

医科点数表第２章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）

医科点数表第２章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）

外科医療確保特別加算

皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節加算（皮膚悪性腫瘍切除術の注）

組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合）

処理骨再建加算（四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術、骨悪性腫瘍手術の注）

骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

脳腫瘍覚醒下マッピング加算（頭蓋内腫瘍摘出術の注１）

原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算（頭蓋内腫瘍摘出術の注２）

内視鏡下脳腫瘍生検術

内視鏡下脳腫瘍摘出術

経皮的選択的眼動脈注入術

上咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）

中咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）

下咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）

喉頭蓋嚢腫摘出術（鏡視下によるもの）

喉頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）

内視鏡下鼻･副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）

経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。）

鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）

鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

鏡視下喉頭悪性腫瘍手術

頭頸部悪性腫瘍光線力学療法

乳癌センチネルリンパ節生検加算１（乳腺悪性腫瘍手術の注１）

乳癌センチネルリンパ節生検加算２（乳腺悪性腫瘍手術の注２）

乳輪温存乳房切除術（腋窩廓清を伴わないもの）

乳輪温存乳房切除術（腋窩廓清を伴うもの）

ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）

乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は１肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）

胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）

胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもので内視鏡支援機器を用いる場合）

肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)

胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）

腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）

腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹膜切除を伴う多臓器合併切除術

腹腔鏡下骨盤内臓全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術

腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）

腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）

胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）

胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）

腹腔鏡下肝切除術

腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下膵腫瘍摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術

腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

内視鏡的小腸ポリープ切除術

小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

腎腫瘍凝固・焼灼術　（冷凍凝固によるもの）

腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

人工尿道括約筋植込・置換術

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

腟腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

腹腔鏡下腟式子宮全摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

輸血管理料Ⅰ

輸血適正使用加算

コーディネート体制充実加算

人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

内視鏡手術用支援機器加算